

類型学研究

第6号

—山口巖先生追悼号—

追悼 山口巖先生

ロシア・ソビエト言語学との二度のであい	まつもと ひろたけ	1
言語学者山口巖先生	李 長波	3
ことばを味わい、哲学する——山口巖先生の思い出	郡 伸哉	7

論文

「御～様」形式について	劉 志偉	11
ある言語学研究史の素描	李 長波	29
福岡県旧山門郡瀬高町方言みちしるべ	金子 光茂	39
ドストエフスキーにおける2項等置表現の修辭的・文體的機能	郡 伸哉	81
連語文と日本語	まつもと ひろたけ	123
Н. А. Сыромятников スイロミヤートニコフ著, 『近代日本語の時制体系』について	鈴木 泰	147
ブルガリア語のアドミラティヴ (admirativ) について	菱川 邦俊	173
「能格的過去」から「活格的過去」へ —デスニツカヤ論文によせて—	石田 修一	183

資料

「30 - 40年代のソヴィエト言語学者の諸研究における 文類型の諸問題と印欧諸語の主格構造の起源の問題」 (ソヴィエト言語学史の中の一章) A.V. デスニツカヤ	石田 修一訳	207
--	--------	-----

類型学研究会

2022年3月 京都

類型学研究

第6号

-山口巖先生追悼号-

類型学研究会

2022年3月 京都

類型学研究会のあゆみ 2011. 4～2019. 12

2011年5月14日(土) 京都大学人文科学研究所

林田 理恵：ロシア語アスペクト・ヴォイス考

2011年8月27日(土)： 京都大学人文科学研究所

高山 道代：古代日本語—主語の形態に関する一考察

2011年11月19日(土)： 京都大学楽友会館

山村 仁朗：助詞「の」について

2012年3月10日(土)： 京都大学人文科学研究所

金田 章宏：主語のハとガの意味と方言

：八丈方言におけるあらたな変化と上代語

2012年6月16日(土)： 専修大学神田キャンパス

劉 志偉：日本語の受身表現の連続性を巡って—中国語との対照から

2012年9月29日(土)： 同志社女子大学今出川キャンパス

万 礼：日本語の「いちいち」、「一つ一つ」と中国語の“一一”

新居田 純野：サオ語(台湾中部)のparticle (a, sa, tu) について

2013年2月23日(土)：同志社大学今出川キャンパス・至高館

カレル・フィアラ：言語類型論の新たな可能性

松原 幸子：日本語能力試験1級「機能語の類」の分類から得られた問題の中から
—とりたて詞の創設について

2013年7月13日(土)：同志社大学今出川キャンパス・神学館

佐久間 淳一：フィンランド語の主語・目的語とその格標示について

2013年11月2日(土)：専修大学神田キャンパス

山田 晶裕：主節における「ガ」の拡大—言語類型を背景として—

2014年4月5日(土)：同志社大学今出川キャンパス・徳照館

米田 信子：バントゥ諸語における名詞クラスと文法呼応
—スワヒリ語の例を中心に—

2014年7月19日(土)：同志社大学今出川キャンパス・徳照館

木田 章義：日本語起源論のために

2015年1月24日(土)：専修大学神田キャンパス

柳沢 民雄：北西カフカース諸語の文構造について：アブハズ語を中心として

2015年6月27日(土)：同志社大学今出川キャンパス・徳照館

田畑 千秋：北部琉球語のハダカ格

金子 光茂：筑後柳川藩領瀬高方言の格標示

松本 泰丈：名詞ハダカ形をめぐって(おぼえがき)

2015年11月21日(土)：専修大学神田キャンパス

野間 秀樹：朝鮮語＝韓国語と日本語を照らす

2016年4月16日(土) 同志社大学今出川キャンパス

劉 志偉：中国語の語順を視覚的に学習するための文の分類について
—日本語の文と対照しながら—

2016年10月8日(土) 同志社大学今出川キャンパス

千種 眞一：アルメニア語研究を振り返って

村木 新次郎：日本語の単語をめぐって—宮岡伯人著『語』とは何か・再考—
日本語文法と「文字の陥穽」—の書評をかねて—

2017年2月18日(土) 同志社大学今出川キャンパス

張 麟声：『言語の類型的特徴をとらえる対照研究』という発想
並びに、この発想に基いた私の研究

2017年7月22日(土) 大阪大学豊中キャンパス・言語文化研究科A棟大会議室

高島 尚生：トゥバ語文法の概観

劉 志偉：バラエティー番組のテロップに見られるラ行音の音縮形について

2017年11月25日(土) 千葉大学西千葉キャンパス・国際教育センター

松本 泰丈：奄美語の名詞の曲用をめぐってー基本形の問題から

2018年3月31日(土) 専修大学神田キャンパス 8B 会議室

須田 淳一：準用言(non-finite verbals)の定義についてー古代日本語の事例から考える

石田 修一：活格言語、能格言語をめぐる誤認ー内容類型学の視点から

2018年7月28日(土) 近畿大学東大阪キャンパス語学教育センター

金田 章宏：八丈語・東日本方言と南琉球諸語ー周圏分布的視点からー

松本 泰丈：言語タイプと主観性

2018年12月8日(土) 専修大学神田キャンパス

狩俣 繁久：人間の言語の特性と起源ー一語文から二語文へ

2019年4月14日(日) 京都大学総合研究棟2号館文学部第9演習室

千田 俊太郎：ドム語の直示表現

2019年9月7日(土) 新宿日本語学校

松本 泰丈：「個別化表現をめぐってー奄美語の場合」

2019年12月8日(日) 京都大学総合研究棟2号館文学部第9演習室

鈴木 泰：「出来事の複数性ーくりかえしーの諸相について」

類型学研究会会員

- 松本 泰丈 (元千葉大学教授・元別府大学教授)
石川 康恵 (大阪国際大学非常勤講師)
石田 修一 (元大阪外国語大学教授)
伊藤 順二 (京都大学教授)
金子 光茂 (大分大学名誉教授)
金田 章宏 (千葉大学教授)
カレル・フィアラ (福井県立大学名誉教授)
迫田 (呉) 幸江 (名桜大学准教授)
佐久間淳一 (名古屋大学名誉教授)
下地賀代子 (沖縄国際大学教授)
鈴木 泰 (東京大学名誉教授)
杉山俊一郎 (信州大学助教)
須田 淳一 (専修大学教授)
須田 義治 (大東文化大教授)
高山 道代 (宇都宮大学准教授)
田畑 千秋 (大分大学教授)
千種 眞一 (東北大学名誉教授)
千田俊太郎 (京都大学准教授)
新居田純野 (長崎外国語大学教授)
花園 悟 (東京外国語大学准教授)
林田 理恵 (京都外国語大学教授)
菱川 邦俊 (京都外国語大学教授)
万 礼 (青島農業大学講師)
水野 庄吾 (京都大学博士前期課程)
山田 昌裕 (神奈川大学教授)
山田 勇 (香川大学名誉教授)
山村 仁朗 (島根県立大学准教授)
楊 華 (同志社大学准教授)
米田 信子 (大阪大学教授)
李 長波 (同志社大学教授)
劉 志偉 (埼玉大学教授)
ルチラ・パリハワダナ (京都大学教授)

類型学研究 第6号
-山口巖先生追悼号-

2022年3月31日発行 ©類型学研究会

代表者 松本泰丈

発行 類型学研究会 京都

事務局 石田修一、菱川邦俊

編集 菱川邦俊

印刷 山代印刷株式会社

〒602-0062 京都市上京区寺之内通小川西入

Printed in Japan

All rights reserved

Typological Studies

Vol.6

SPECIAL ISSUE

In Memoriam: Prof. Iwao YAMAGUCHI

In Memoriam: Prof. Iwao YAMAGUCHI

Twice Encounter with Russo-Soviet Linguistics	Hirotake MATSUMOTO	1
Prof. Iwao YAMAGUCHI as a Linguist	LI Changbo	3
In Memory of Professor Iwao YAMAGUCHI	Shinya KORI	7

Articles

The Aspects of “O/GO ~ SAMA”	LIU Zhiwei	11
A sketch of a History of Linguistic Researching in 20th Century Japan	LI Changbo	29
An Introductory Guide to the Dialect Spoken in the Former Setaka Town, Yamato-gun, Fukuoka Prefecture	Mitsushige KANEKO	39
Rhetorical and Stylistic Functions of Binary Coordination in Dostoevsky’s Writings	Shinya KORI	81
[Word-group Sentence] and the Japanese language	Hirotake MATSUMOTO	123
On “The Tense System in Modern Japanese” N.A.Syromyatnikov	Tai SUZUKI	147
On the Admirativ in Bulgarian	Kunitoshi HISHIKAWA	173
For the Memories of Prof. Iwao YAMAGUCHI From «Ergative Past» to «Active Past» — On Desnickaja's Thesis (with Material)	Shuichi ISHIDA	183

Materials

Десницкая А.В., Вопросы типологии предложения и проблема происхождения номинативного строя индоевропейских языков в исследованиях советских лингвистов 30-40-х годов (Глава из истории советского языкознания)	A.V. Desnickaya (translated by Shuichi ISHIDA)	207
--	--	-----

March 2022

The Typological Studies Society

Kyoto

Editor-in-chief: Hirotake MATSUMOTO

Published by the Typological Studies Society

Office: Shuichi ISHIDA (phthinopwron269@kcn.jp)

Kunitoshi HISHIKAWA (k_hishik@kufs.ac.jp)